商店街カルテ

東十条銀座商店街（協）（北区）

「ラブちゃん」が繋ぐ地域

中小企業診断士　黒川　敦

東十条銀座商店街（小野一男理事長、加盟店舗数38）は、JR東十条駅・地下鉄王子神谷駅から徒歩10分に位置する下町風情が残る商店街である。総合スーパーを中心に昔ながらの鮮魚や青果、和菓子、惣菜、酒、美容室、飲食店などが全長400㍍の通りに軒を連ねている。昭和27年結成の長い歴史があり、来街者の約半数が近隣の町内に在住している地域密着型の商店街である。

◇　◇

■商店街キャラクター「ラブちゃん」

商店街を訪れるとウェルカムゲートにかわいい犬が描かれていることに気づくことだろう。これこそ商店街のキャラクター、ラブラドールの「ラブちゃん」。10年前に盲導犬の募金を商店街で行ったのをきっかけに誕生した。当時は話題になったようだが、平成26年の来街者アンケートでは認知度が12・7％、さらに商店主も半数は知らないという状態であった。それでも「今まで知らなかったけど親しみがわくゆるキャラ」、「かわいい」という声が多く聞かれた。そこでラブちゃんをブランド化し、イベント、関連グッズ、Webページなどで統一して使用し、おもてなしのシンボルとして定着させることを考えた。

ゆるキャラの特徴の一つは動ける「着ぐるみ」の導入で、着ぐるみとの握手や記念撮影で交流できることである。着ぐるみのデザインは全加盟店に確認してもらい、平成26年の歳末イベントでお披露目となった。さらに「缶バッチ」、「名刺」、「シール」、「商店街マップ」を製作しアピールを行った。その結果、平成27年度の来街者アンケートでは認知度が37・1％に急増。イベントの参加者も増えており、キャラクターを通じて商店街と地域が新たなつながりを形成しつつあると思われる。

■店主のこだわり講座

「店主のこだわり講座」は「その道のプロ」としてこだわりを持つ店主の想いを、地域の方々にセミナー形式で紹介する個店支援事業である。当商店街は38店舗の小さな商店街でありエリアを決めて実施する「まちゼミ」を展開することが難しい。そこで店主のこだわり講座として取り組むことになった。

平成27年2月15日に「寿司と酒の世界」と題したセミナーを開催し、満席となる15名の一般客が参加した。講座では2店舗の店主から一般客が知らない多くのうんちくが披露された。また座学に留まらず、試飲で意見交換する双方向のコミュニケーションを築くことにも成功した。講師を務めた店主側にとっても、自店の商品を客観的に分析でき、強みを再認識する機会となった。第2回も8月5日に開催し大盛況となった。来年度は区と協力しながら、まちゼミも見据えて本格的な実施を検討している。

■Facebookでの情報発信

平成26年8月にFacebookページを開設し、情報公開により地域住民と商店街の結束を強める取組みを始めた。店主の顔が見えるお店や人気商品の紹介、商店街を歩いているかの様な臨場感あふれる記事、ラブちゃんが登場するイベントの掲載など今が旬のコンテンツ掲載を行った。さらには、当商店街のホームページをリニューアルし、新しい店舗情報や商店街マップを掲載、またFacebookページとも連動させた。

その結果、「いいね！」が550を超えている。最近では、新しい記事が1000名以上に届くこともあり、Facebookが商店街の情報発信として重要性を増している。

◇　◇

新たな試みを積極的に行っている商店街ではあるが、駅から若干離れていることもあり、最近出店した駅前のスーパーの影響を受け人通りが少なくなる危機感が加盟店の中で生まれている。これまでの活動により「ラブちゃん＝商店街の一致団結のシンボル」、「店主のこだわり講座＝個店の活性化」と土壌は整ってきている。本活動を推進し、商店街の目標「住民が安心・安全に生活でき、ふれあいやおもてなしのある身近で快適な商店街」の実現に向け、担当診断士として商店街とともに取り組んでいきたい。

▲商店街のウェルカムゲート
▼ハロウィンまつりのラブちゃん

桑島理事長と意見交換

調査事業委員会　高齢者の万引き対応

委員会メンバーと調査結果や報告書の提案内容について活発に議論を交換

高齢者の万引き問題をテーマとした都振連の商店街活性化推進調査・研究事業委員会（齊藤得彌委員長）では、11月27日に東京万引き防止官民合同会議広報委員長も務める桑島俊彦　都振連理事長との意見交換を実施した。

まず冒頭に委員会より、これまでの調査・研究事業でのアンケート結果や議論について中間報告。少年より高齢者の万引きが多い現状や、食品の犯罪例が6割、検挙数は摘発要員が配置できるチェーン店に偏在、なじみ客かつ低額なため検挙に躊躇しがち――など。とくに一人暮らしの高齢者が万引き犯となる例が多いことから、商店街としての高齢者の拠点づくり等の事例も交えて提言するとした。

とくに齋藤委員長は、今年の報告書ではイラスト中心の読み物の装丁とすることで、「より多くの会員に身近に感じてもらい、かつ実践につなげてもらうことをねらいとした」と報告。これを受けて桑島理事長は、都振連理事会でも委員会からの報告機会を設けるとして、各区市商振連経由でいかに傘下商店街へ浸透させるかが重要なカギになると指摘。地元世田谷区振連では理事会活性化策として、産業、福祉、環境など幅広い行政担当者も参加することで、迅速かつ効果的な事業推進の場としているとして、今回の報告書もこうした方向性で各区市商振連レベルでの活用推進に努めてほしいとした。

桑島理事長からはこのほか、街路灯放送機器を活用した万引き防止の呼びかけなど地元商店街での取り組み事例や、東京万引き防止官民合同会議など他機関との連携、外国人窃盗団問題など幅広い観点からのアドバイスがあり、同委員会では今回の桑島理事長の提案等を踏まえて、来年1月末に同調査事業報告書をまとめる。

商店街大学からジャンプアップ

笑顔あふれる店・街に

第13期生　西（にし）　哲由（たかよし）氏　ハッピーロード大山（振）事業部副部長

東武東上線・大山駅から徒歩3分、2階へ続くビル外階段脇に、ジューシューと聞こえてきそうな焼肉の巨大看板や、「はさみdeステーキ」「大山B級グルメ　超レアステーキ」などのメニュー看板が目を引く。階段を上がると、カウンター式のアットホームなステーキ店と、座敷席も備えたファミリー向けの焼肉店。「2店とも、チェーン店レベルの手ごろな価格設定で国産や手切りなど〝付加価値〟で勝負したい」。その相剰効果策を熱く語る西さんだ。

現在開催中の商店街主催のまちゼミでは、「ママが教える、家で作れる簡単イカの塩辛」「ママが教える、簡単ラーメン屋さんの味付玉子」の2講座を提供中。夫婦二人三脚、素材から手づくりする地場店ならではの、チェーン店には絶対に真似できない〝付加価値〟が光る。

商店街では、今年6月にオープンさせた新拠点「スクスク・カフェ&キッズ」を担当。子育て支援とコミュニティ・カフェ機能を併せ持ち、買い物時の子どもの一時預かりもこのほどスタート。「個店連携型の販促策も盛り込んで、子育て層が気軽に商店街を利用できる環境づくりにつなげたい」。

外食産業勤務を経て4年前に創業、冒頭の2店舗に加えて豊島区・池袋でもラーメン店を経営。そんな多忙な店舗経営の一方で、商店街では事業部副部長を担い、さらに昨年度は都振連「商店街大学」も受講。「とくに自由が丘商店街の視察で学んだ、未加盟店主も交えた若手店主交流会に感銘を受けた」。地元商店街では、来春に第2弾となる同様の交流会企画が進む。

そんな活発な活動を後押しするのは、「社会貢献をしなければ企業はなりたたない」との強い信念だ。創業時からの企業理念は「お客様、地域、私たち、すべてを笑顔にする店に」。西さんならではの、「お客様、地域、私たち、すべてを笑顔にする」商店街づくりにもぜひ期待したい。

「商店街としての店舗集積があってこそ、個店は商売ができる」

接客に役立つ英会話

～下北沢一番街（振）テキストより～

Chapter 4　共通編―①

＜スポットトーク＞

ご出身はどちらですか？
▶Where are you from?
何で日本にいらっしゃいましたか？
（whyを使うと尋問調になるので避ける）
▶What do you come to Japan for?
お勤めですか？
▶Are you working?
お仕事は何をされていますか？
▶What do you do for living?
（旅行中で）どのくらい日本にいらっしゃいますか？
▶How long in Japan?
▶How long have you been in Japan?
（日本に滞在して）どのくらい日本に住んでいらっしゃいますか？
▶How long do you live in Japan?
学生さんですか？　▶Are you a student?
どんな音楽が好きですか？
▶What kind of music do you like?

＜道案内＞

（地図を見せながら）私たちはここです。
▶We are here.
ここを左に曲がります。▶Turn left here.
最初の角を右に曲がります。
▶Turn right at the first corner.
徒歩５分です。▶A five-minute walk.
右側／左側に：On your right/left
交差点：CrossまたはCrossing
Ｔ字路：T-junction

＜相づちなどでよく使う表現＞

なるほど。▶Right.
わかりました。▶I see./Sure.
喜んで。▶My pleasure.
もちろんです。▶Sure/Certainly.
ありがとうございました。▶Thank you.
申し訳ございません。▶I'm afraid.
（I'm sorryはお店側に本当に非がある場合にのみ用いる）
良い日でありますように。
▶Have a nice day.
どうぞ日本滞在を楽しんでください。
▶Enjoy your stay.

コミュニティビジネステーマにシンポジウム

大田区で参加者募集中

大田区では商店街をテーマに「コミュニティビジネスシンポジウム」を開催する。入場無料、12月8日締め切りで先着100名まで参加受付中。

▽開催日時　12月11日（金）午後2時～5時
▽会場　大田区産業プラザPio2階小展示ホール
▽プログラム
第1部　基調講演：「コミュニティビジネスで商店街活性化の第一歩」＝NPO法人コミュニティビジネスサポートセンター代表理事　永沢映氏
第2部　事例発表：NPO法人まちづくり大井　加藤雅之事務局長／㈱リンクフォースマイル　山口祥子代表取締役（コミュニティカフェ運営）
第3部　パネルディスカッション：「人をつなぐ・まちをつくるコミュニティビジネス」
▽申込み・問合せ先　大田区産業振興課産業振興担当☎03・5744・1373

東京都商店街ホームページへようこそ

http://www.toshinren.or.jp　まずクリックしてみてください

NEWS＆TOPICS

東京都などの行政からのお知らせや都内各商店街が行うイベントを月毎に紹介します。また東京都商店街振興組合連合会で毎月発行している商店街ニュースの記事も見ることができます。

ワクワク商店街アワー

ラジオ番組内の企画で、芸人の皆さんが東京のおもしろ商店街を探検してレポート内容を見ることができます。

商店街活動事例

商店街の活性化のためにソフト(イベント)やハード(施設)を充実させることに成功した商店街の活動を紹介しています。

商店街リンク

東京及び全国の商店街のホームページを見ることができるリンク集です。

商店街 2020 年ビジョン

会員向け情報

商店街振興組合を円滑に運営していくための情報を提供しています。